

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



小泉進次郎
自由民主党公認

声を力に。

2012年の2回目の当選以来、有権者の皆さんの
負託に応えたいという一心で、全力で駆け抜けてきました。
この2年間、初めて与党の立場で、自民党青年局長、そして
政府の一員として復興政務官・内閣府政務官の職務にあたってきました。

政務官として担当した政策分野は、社会保障・税一体改革、PPP、
経済財政等、幅広いものでしたが、特に力を入れてきた取り組みは、
東日本大震災からの復興、地方創生、国家戦略特区です。

3・11の直後から、数えきれないほど被災地を訪れてきました。
現地でお会いした被災者の皆さんの声に耳を傾けながら、産業・教育に
関する支援や被災自治体に対する人材の派遣、また風評被害払拭の
ための施策等に取り組み、復興を後押ししてきました。

地方創生を担当する政務官としても、人口急減に正面から向き合い、
先進的な取り組みを行う全国各地に足を運び、政府の施策に繋げました。

経済成長を阻害している岩盤規制を撤廃する突破口として
国家戦略特区の推進も手がけてきました。神奈川県全域を含む
全国6地域が特区指定を受け、横須賀市・三浦市でも特例措置を
活用することができるようになりました。

このように、日本が直面する様々な課題に取り組みできた2年間でした。
しかし、日本はこれからが正念場です。

私は、これからも東日本大震災からの復興を前に進めたい。
地方創生を成功させ、日本全国で強い覚悟で新たなまちづくりを
取り組む地域に夢と希望をもたらしたい。

そのためには、国家戦略特区のような制度を活用しながら、
時代遅れの規制を撤廃し、より自由で活力ある日本経済にしていきたい。

そして、人口減少下でも次の世代に豊かさを引き渡していける、
世界初の発展モデルを日本から国際社会に示したい。そのため、
若い人たちが新たな発想で次々とイノベーションを創り出している
環境を整えていきたい。

初当選時の厳しい選挙でも、前回の選挙でも、
変わらず支えてくださった地元の方々の気持ちに応えられるよう、
初心を忘れず、一人ひとりの声を力にかえて、
これからも全力で頑張ります。

小泉進次郎の三度目の挑戦に力強いご支援、よろしくお願ひします。

プロフィール
【誕生日】1981年昭和56年4月14日(第33歳)【経歴】関東学院大学経済学部卒業
【学位】米国コロンビア大学大学院政治学修士号取得【職歴】元米国防務省国際問題研究所(CSIS)研究員
元衆議院議員(小選挙区)【所属】元自由民主党青年局長、自由民主党衆議院議員(神奈川県第11選挙区支部長)
衆議院議員(第2回)【内閣府政務官】復興大臣政務官【経歴】野球、テニス、ゴルフ、読書、サウナ、
ゴルフ(尊敬する人物)ジョン・F・ケネディ【好きな言葉】「好きな言葉」道志あると心に道はある

比例代表も自民党へ

日々の活動はこちらから shinjiro.info/2014/



日本共産党
瀬戸かずひろ
せと和弘

安倍政権と対決
日本共産党への
ご支持を

原子力空母ロナルド・レーガンへの交代、弾道
ミサイル防衛能力を持つイージス艦2隻の追加
配備、欠陥機・オスプレイ飛来など、横須賀基地を
アメリカの戦争拠点にする動きが強まっていま
す。集団的自衛権が行使されれば、海上自衛隊横
須賀基地が米軍の軍事行動に組み込まれます。
私は、自衛隊員の命が奪われ、他国の人を殺傷
する事態を生まなため、集団的自衛権行使の
「閣議決定」を撤回させます。消費税10%中止、暮
らしと平和を守るために全力でがんばります。

消費税に頼らない2つの改革

日本共産党は、消費税に頼らない、暮らしと経済
を立て直す2つの改革を提案しています。

- ① 富裕層や大企業への応分の負担を
求める税制改革。
- ② 大企業の内部留保285兆円の一部
を活用し所得を増やす経済改革。
この2つの改革をすすめる、社会保障の財源確
保と財政再建をはかります。

暮らし第一で 経済を立て直す 3つの提案

- ① 人間らしく働ける雇
用のルールをつくる
- ② 社会保障切り捨てか
ら充実へ
- ③ TPPからの撤退、
日本の農業の再生、
中小企業の振興

「海外で戦争する国づくり」やめ 憲法9条を生かした平和外交を

集団的自衛権行使容認の「閣議決定」の撤回
を求め、憲法9条を生かした外交で、紛争を話
し合いで解決する北東アジアの平和の枠組み
をつくりたい。国民の目・耳・口をふさぎ、戦争
に動員する特定秘密保護法は撤廃させます。

再稼働ストップ 「原発ゼロの日本へ」

福島第一原発事故で、原発と人類は共存で
きないことが明らかになりました。1年以上
も原発ゼロで乗り切りました。原発に頼らず、
再生可能エネルギーへ転換します。

金権政治ノー、政党助成金廃止
「カネ」で政治をゆがめる自民党か、国民
の声で政治を動かす日本共産党か、自共対
決は鮮明。共産党以外が受けとっている企
業・団体献金禁止、政党助成金廃止で、
国民の声が生きる政治をつくりたい。

国民を裏切る政治から、国民の声が生きる政治を

消費税10%先送りではなく、きっぱり中止を

比例代表
選挙は
日本共産党
とお書き
ください